

# ひろば

vol. 16

2007・秋



## 特集テーマ

### 介護保険で利用できる高齢者福祉施設について

～施設の内容を理解して上手に利用しましょう～

介護保険制度が実施されてから7年が経ち、高齢者施設のサービス等も見直されてきました。栄区内でも様々な高齢者施設が建設されています。「高齢者のための施設だ」という事は理解していますが、それぞれどんな内容で、どのような違いがあって、どんな人が利用することができるのでしょうか。そこで、この近辺の高齢者施設への取材やアンケートを実施して、高齢者施設への理解が深められるよう、特集を組みました。

最近では、「老後をどのような場所で生活するか」を選べる時代になってきました。選択する側がしっかり情報を得て、自分にあった生活環境を選ぶことへの一助になる事を願います。

高齢者施設には、「介護保険サービスで利用できる公的な高齢者施設（①介護老人福祉施設と②介護老人保健施設）」と「民間企業が経営する有料老人ホーム」がありますが、今回は前者の「介護保険施設」を紹介します。

# ① 介護老人福祉施設〔特別養護老人ホーム(特養)〕

常時介護が必要で自宅では介護が困難な方が入所し、入浴、排泄、食事などの介護や日常生活上の世話、機能訓練、健康管理などを受ける事ができます。(上郷苑：訪問取材、他3施設：アンケート)

## 上郷苑

特養「上郷苑」は、区の南端、野七里の入り口にあります。前を住宅街、後ろは鎌倉へと続く森、鎌倉カントリークラブに隣接した、大変静かな自然あふれる環境に佇んでいます。昭和58年創設の「上郷苑」に、今年7月、ユニット型の特養を増設しました。開所間もないことから、すべてが真新しく、新しい生活を始めたご利用者とフレッシュなスタッフが、一緒に生活のスタイルを作り上げています。ユニットケアということから、個々のご希望を叶えたり、生活習慣や生活歴を尊重しながら、個室での生活、ダイルームでの家庭的な暖かい雰囲気大切にしています。新しい施設ですが、「上郷苑」の20余年の長い歴史と、地域との密着した繋がりを生かしながら、ユニット棟らしさを創っていきたいとのこと。施設は全体的に広々とした感じを受けました。ダイルームを中心に10部屋の個室を配置した標準的な「ユニット型」で、全10

ユニット。現在4ユニットがほぼ満床にて、それぞれのユニットの個性が現れてきています。今後、順次に受け入れを続けます。

経営母体の社会福祉法人横浜長寿会は、グループホーム、ショートステイセンター、洋光台地域ケアプラザを運営しています。

◆施設の理念 ～心と心のふれあいを大切に～

①一人ひとりを見つめ、一人ひとりに合わせた生活援助に努めます。②丁寧で親切なサービス、優しく心のこもったサービス、確かに安心なサービス提供に努めます。③地域の中で、地域と共に歩む自然な暮らしに努めます。

◆特徴 ユニット型、家庭的な雰囲気を大切にします。

◆入居金・毎月の利用料

入居金はなし。利用料は介護度や利用される部屋など、諸条件により異なります。

◆連絡先 045-897-3055

## 陽のあたる丘 MISONO

◆施設の理念

《ふれあう心・ふれあう手・笑顔で支える優しい介護》

◆特徴とPR

閑静な住宅地域の高台に位置し、霊峰富士・大山・丹沢山塊が一望でき、陽当たりの良い、全室個室の低層型の施設です。ユニットケア(個室10部屋が1ユニット《グループ》)の小規模共同生活型の特色を生かし「自分の部屋」の感覚を大事にして、「自分らしい生活・普通の生活に近づく」個別ケアに努めます。そのために小グループごとによる一人ひとりのご要望や生活リズムに沿ったケアサービスの提供、生活環境充実の為に個室と人間関係を築く為の共同生活室他というハードを生かし、その人らしい日常生活が営めるようにサービスを提供しています。

また、地域コミュニティ作りにも取り組み、交流ギャラリを整備、地域の方々に開放しています。

◆入居金・毎月の利用料

入居金はなし。利用料は介護度や利用される部屋など、諸条件により異なります。

◆連絡先 045-892-1423 (入居担当)

◆ホームページ

<http://www.kotokukai.or.jp/>

## クロスハート栄・横浜

◆施設の理念

「クロス」=交差する、「ハート」=心。ここに集うすべてのご入居者のご家族、そして職員との温かな心のふれあいを何よりも大切にしたい。「クロスハート」という名には、そんな思いが込められています。

◆特徴とPR

樹木に囲まれた閑静な高台に位置する認知症のご高齢者対象の施設です。「楽しく・きれいに・いつまでも」をモットーにしています。「楽しく」は、入居者に質の高いアクティビティや音楽プログラムなどを提供すること。「きれいに」は、入居者の身のまわりや環境、スタッフの服装などを清潔に保つこと。そして「いつまでも」では入居者自身がずっと滞在したいと思える環境づくりを心掛けています。野七里に小規模特養を建設中(平成21年オープン予定)です。

◆入居金・毎月の利用料

入居金はなし。利用料は介護度や利用される部屋など、諸条件により異なります。

◆連絡先 045-896-1233

◆ホームページ

<http://www.crossheart.jp>

## ライフコートさかえ

◆施設の理念

四季折々、表情も豊かな荒井沢市民の森の自然に囲まれた中で介護を必要とされた方々に日々穏やかに過ごして頂ける環境を私達は生活のパートナーとしてのお手伝いをさせて頂きます。ご家族や地域の方々との交流を大切にしながら開放的で明るい施設を目指していきます。

◆特徴とPR

全室個室により、ご利用者の個々のプライバシーが保たれご家族とのゆったりとした時間を気兼ねなく過ごすことができます。10人のご利用者様が1つのユニットで生活され、ユニットごとの職員配置による、安定したサービスを提供させて頂きます。また、春には鶯の合唱、夏にはホテルの舞などと四季を通じて自然と一体となる施設です。

◆入居金・毎月の利用料

入居金はなし。利用料は介護度や利用される部屋など、諸条件により異なります。

◆連絡先 045-890-5066

◆ホームページ

<http://www.hoshokai.jp>

## ② 介護老人保健施設(老健)

利用者が自立した日常生活を営むことができるよう、日常生活動作のリハビリ等を行いながら、自宅での生活復帰を目指す施設です。(リハビリポート横浜：訪問取材、他2施設：アンケート)

### リハビリポート横浜 3階建て120床の施設

施設の内部は庭が設けられているせいか、どの部屋もとても明るく、木製のベッド、テーブルや椅子などにも温かみを感じられます。特にリハビリ用の機能訓練室は、広々として一人週2～5回のリハビリに使用されているそうです。訪問した日は、マシンに座って足を動かす人や書写をする人など、真剣な表情で作業に取り組んでいました。



事務長の菱沼英明さんは、「理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が一人ひとりの症状にあったリハビリを提供しています。また、少人数で共同生活を行う個室対応のユニットケア(認知症専用のユニットケアもある)も行っておりま

す。老人保健施設という、病院を退院して家で生活するための機能訓練の場と考えられていますが、介護疲れで少し休みたいというご家族のための受け皿としても是非利用して頂きたい」と語っていました。「至れり尽くせりでありがたいことです。また来て下さいね」見学中に入所者の方から声をかけられ、明るい笑顔が印象的でした。

◆**理念** ご利用者の尊厳を守り、安全に配慮し、生活機能の維持・向上のためのサービスを提供し地域との交流を大切にします。

◆**特徴** リハビリの充実、認知症対応を含む個室対応のユニットケア、足湯の完備、レクリエーション・イベントの充実などです。

◆**利用者** 入所は要介護度の認定を受けている方、または申請中の方。デイケアとショートステイは、要支援の方でも利用できます。

◆**入居金・毎月の利用料**

入居金はなし。介護度や利用される部屋など、諸条件により異なります。

◆**連絡先** 045-897-4580(代)

◆**ホームページ** <http://www.rp-yokohama.jp/>

### 湘南グリーン介護老人保健施設 上郷

#### ◆施設の理念

家庭的な雰囲気の中で医療ケアと生活サービスの一体的提供、要介護老人の家庭復帰への自発的活動の促進と専門的機能訓練の提供を目指しています。

#### ◆特徴とPR

“病気を見ずして、病人をみよ”の理念のもと、御利用者優先を第一に考え、国または公共団体の矛盾にみちた通達も合法的に緩和し、御利用者が、楽しく、また安心安全に施設生活が送れるよう職員一同頑張っています。

また、①建物がきれいで各空間が広く、②食事がおいしく家庭的に近づくように努力、③リハビリはきめ細かく計画的に実施、④事故防止には熱心に取り組み、トラブルの減少を心掛けている、などの特徴もあります。

#### ◆入居金・毎月の利用料

入居金はなし。介護度や利用される部屋など、諸条件により異なります。

◆**連絡先** 045-890-6106

◆**ホームページ**

<http://www.yokosukagreen.com/stop.html>

### ケアポート田谷

#### ◆施設の理念

「利用して頂く方々の体と心の健康に役立ちたい」これが昭洋会の発足理念です。介護の主役はご本人と家族で、私共は心をこめてそのお手伝いをさせて頂き、自分達の肉親を安心して任せられるような介護施設の運営を理想としています。

#### ◆特徴とPR

理学療法士、作業療法士、言語聴覚療法士のスタッフを充実させ、リハビリテーションに力を入れています。また、景観が良く南側は緑地帯が多く、遠くはランドマークタワーが見え、横浜の花火大会の鑑賞も可能です。100人いらっしゃれば100通りの介護の方法があり、施設を利用して頂いた方々から「ありがとう」の言葉を頂けるよう職員一同頑張っています。

#### ◆入居金・毎月の利用料

入居金はなし。介護度や利用される部屋など、諸条件により異なります。

◆**連絡先** 045-858-5882

◆**ホームページ**

<http://www.care-net.biz/14/taya/>

## 本郷中央地区支えあい連絡会全体会報告

開催日時 9月13日(木) 14時～ 於：桂台地域ケアプラザ多目的ホール

9月13日、自治会7名、福祉関係者5名、活動団体6名、分科会4名、行政、ケアプラザ13名の計35名が出席して本年度第1回の会合が桂台地域ケアプラザで開かれた。5つの分科会から活動報告と、本郷中央地区社協から「わが町の福祉増進について」の取り組みが報告された。自治会関係者からボランティア団体の活動が地域福祉活動の大きな駆動力となっているとエールが贈られた。続いて行政から「災害時要援護者の避難支援システム策定の手引き」に関する説明が行われた所から議論が沸騰した。この手引きは、行政が保有している情報を地域に開示する方法を決めようとするものである。グループ桂台代表から援護情報が書き込まれたサービスエリア内の地図が示され、援護情報の取り扱いが切迫している事を示した。地図には会員の要援護者の所在と支援者の所在が書き込まれており、これを使えば災害時には救援活動が効率的に行われると予想される。

フロー桂台自治会では、「保安部」と呼ぶ組織を作り要援護者情報の把握に努めている事を発表。公田地区では、都市再生機構(旧住宅公団)側が居住者の情報を一切出さないの空家かどうかの判断も出来ず困っていると報告した。

未だこの「手引き」は、モデル地区を2～3箇所選定して試験的に行う端緒に着いたばかりであり、3年後全地域適用を目標に進められる計画。個人情報保護法が施行され、過敏すぎる対応が取られた反省で、180度の転換である。横浜市は「市民への非開示の原則」から「本人の同意を得て積極的に開示」と大きく変更した。

この事は、今後各地で災害時援護システムを作る場合の取り組みが大きく変わる事を意味している。この手引きには、情報開示の如何に関わらず平常時から在宅援護者への「声掛け見守り」がシステムの根幹を成すと書かれているのは、出席者全員の納得するところであった。

## 上郷西地区支えあいネットワーク連絡会全体会報告

開催日時 10月19日(金) 14時～ 於：桂台地域ケアプラザ多目的ホール

平成19年度最初の上郷西地区支えあいネットワークの集会在10月19日、桂台地域ケアプラザで開催されました。自治会関係者はもとより、地域で活動する各種団体、栄区役所の福祉関係者、また地域支えあい連絡会の方々など総勢36人が出席、議題にそって話し合いが行われました。

今回は10月に発行された「上郷西地区支えあいネットワークハンドブック」の紹介と、災害時要援護者対策を視野に高齢者への安否確認をするといった防災訓練を実施した西ヶ谷団地の取り組みが発表され、意見交換が活発に行われました。特に西ヶ谷団地の取り組みは他の自治会からも注目を集め、「住民の名簿の作成を進めている」とか、「助けが必要な人

をあげてもらい、災害時の助けあい関係を作っている」といった状況が話されました。一方で、挨拶もままならない地域付き合いを嘆く声もあり、いざという時には近所同士の付き合いが大切ではないかという他地域からの意見も出ました。

実際、西ヶ谷団地でも1年で住民の1割以上が引越し等で入れ替わり、隣近所のつながりを築くのは難しいといった現状もあるようです。

栄区役所からは要援護者対策について、今後モデル地区を対象に実験取り組みをすること、要援護者対策を住民に周知させて欲しいことなどが要望として出されました。

### 編集後記

- 世界の長寿国、日本。セカンドライフには「人生の寿命」も「お金の寿命」もともに長生きできる生活設計が大切ですね。(K.I)
- いつか来るXデーまで、一人でも楽しく、元気に生きていけるよう日々策を練るわ・た・し……。 (R.S)
- はじめて取材で訪れた老人施設、想像していたより、雰囲気が良い、いつか私もお世話になるのかな。(T.U)
- 特養と老健の違いもやっと分かった。福祉行政上は

必要なだろうが、複雑な仕組みだと感心している。

(J.N)

- 他人事と思っていた老人施設(特養)、取材してはじめて介護保険制度に関心をもつ切っ掛けになりました。(T.S)
- 福祉施設が充実しているこの地域、とても心強く感じました。ひろば16号を発行するにあたり、たくさんの施設の方にお世話になりました。この場をおかりしてお礼申し上げます。(T.K)